

ファイル比較/検証システム

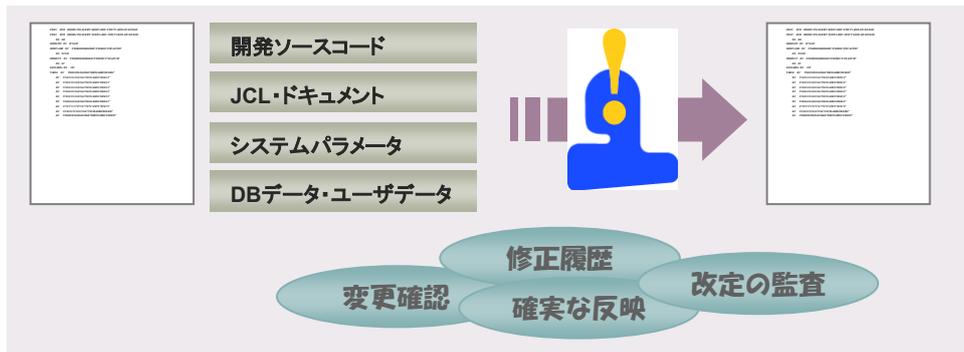
ESTCOMPR

ファイルの比較 / 検証を実現するユーティリティ
 入力ファイルの比較 / 検証した相違部分を検出



比較検証は内部統制の基盤

内部統制において開発・修正されたソースコードやデータが**確実に本番に反映**されることを保証するのは重要なファクタとして位置づけられています。**ESTCOMPR**はこのソフトウェア開発、システム運用における重要な要素である保証で処理されるべき「比較検証」に最適の機能を提供し、その過程における「**完全性**」「**正確性**」「**正当性**」を保証します。



ESTCOMPR比較検証イメージ

製品概要

主機能 - 変更箇所の特定

2つのファイルを比較し、相違点を見やすいレポートで表示します。単純に同異を判定するのではなく、豊富なパラメータでデータのキーマッチングやレコードの挿入、削除の判断が可能です。

比較対象の汎用性

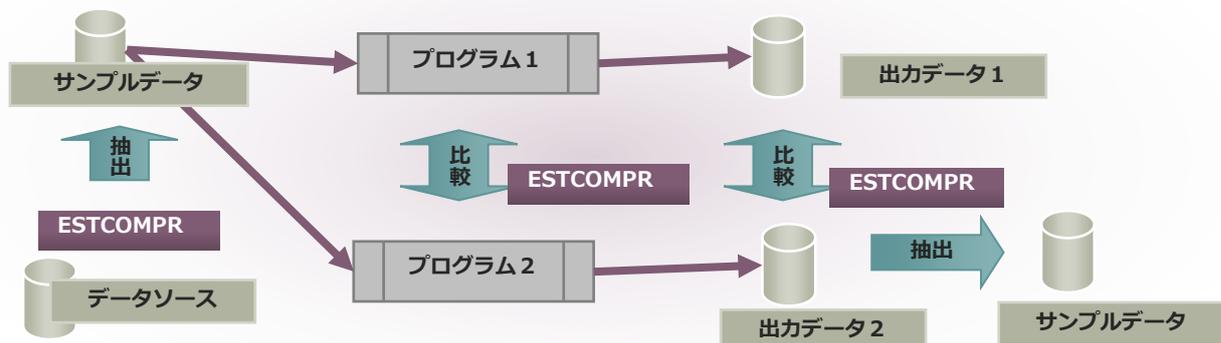
比較対象ファイルの属性は問わず、磁気テープを含めた順編成、VSAM、ISAM、データベース、ライブラリ管理システム、区分編成ファイル、ロードモジュールなどを相互に比較できます。

豊富なインターフェース

24以上のインターフェースと使いやすいISPFインターフェースを持ち、レポート機能においてもそのフォーマット（形式）を個々の必要に合わせて変更する事ができます。

ファイル出力機能

相違部分をファイルに出力する機能があり、これによりテスト/サンプルデータの作成等を行う事もできます。



活用パターン - 導入のメリット

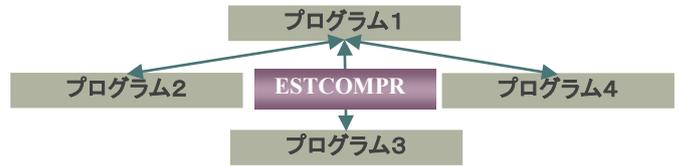
活用パターン 1 - システム定義変更検査

ESTCOMPRでSYS1.PARMLIBなどの変更前後を比較することで、変更内容の確認、問題発生時の問題点の特定と速やかな復旧が可能となります。



活用パターン 2 - プログラム開発支援

複数のプログラム開発が同時に発生した場合、各自が変更した内容を正確に把握し、最終統合の手助けとなります。



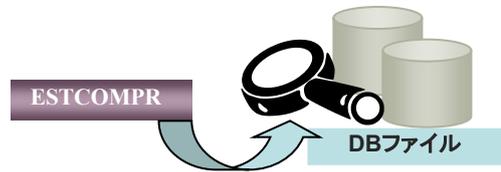
活用パターン 3 - 確実な本番反映

本番へのデータ・プログラム反映において比較検証のルール化、UPDATEカードの利用により確実性と完全化を図ることができます。



活用パターン 4 - DBデータ更新確認

DB2やADABASなどのDBデータ更新確認としてESTCOMPRでインタフェースを介して直接DB内容を比較し、変更を検証できます。



その他の機能

インタフェース

パネルを含めた各種インタフェースでDB、ライブラリ管理ファイルを直接比較可能

フィールド限定

レコード中の特定フィールドのみを選択、除外可能

言語の設定

ソースコードの言語設定により、言語に最適の比較キーワードを自動設定

表示形式設定

出力・表示形式として、十進、十六進数表示、DUMP形式表示など

比較レコード限定

レコード選択・除外、読み飛ばし、対象レコード数限定など

比較位置限定

フィールド特定、比較前マスク処理、比較位置指示 など

表示限定・変更

比較結果の表示をマスク

```

LTR      15, 15
BNZ     OPNER
OPEN    (FILE2, (OUTPUT))
LTR      15, 15
BNZ     OPNER
O+++++<+>, +++++1++++, +++++2++++, +++++3++++, +++++4++++, +++++5++++, +++++6++++, +++++7+>+
D      LA      6, WK80+8
D      MVC     0(14, 6), MIDASI
D      PUT     FILE2, WK80
+++++<+>, +++++1++++, +++++2++++, +++++3++++, +++++4++++, +++++5++++, +++++6++++, +++++7+>+
D      LA      6, WK80
O+++++<+>, +++++1++++, +++++2++++, +++++3++++, +++++4++++, +++++5++++, +++++6++++, +++++7+>+
D      MVC     0(30, 6), ATODASIO
-----|-----2-----4-----5-----6-----7-----
I      MVC     0(79, 6), ATODASIO
+++++<+>, +++++1++++, +++++2++++, +++++3++++, +++++4++++, +++++5++++, +++++6++++, +++++7+>+
D      PUT     FILE2, WK80
B1     LA      5, 0(0)
       LA      11, WK133+65
       DS      OH
    
```

```

Dataset Names and Brief Options          Profile: *
Command ==>
SYSUT1 ISPF FILE:                        SYSUT2 ISPF FILE:
PROJECT ==>                               PROJECT ==>
LIBRARY ==>                               LIBRARY ==>
TYPE ==>                                  TYPE ==>
MEMBER ==>                                MEMBER ==>

OTHER PARTITIONED, SEQUENTIAL, VSAM, OR ISAM DATASET:
SYSUT1 DSNAME ==> 'SYS1.PARMLIB'
SYSUT2 DSNAME ==> 'NULLFILE'

ENTER FREE FORM KEYWORDS BELOW: (No Syntax Checking Done on the Panel)
==> SCAN
==> FINE=(1-72, EQ, 'CAT')
==> MBRHDR=COND
==> LINE=(80, ALPHA)

Press ENTER to register and stay; Enter END Command to register and exit.

00220002  0 N E 22
00230002  0 N E 23
00240002  0 N E 24
    
```

比較結果イメージ

ISPF画面表示イメージ

CCS 株式会社 シーイーシーカスタマサービス
プロダクトサービス事業部

稼働環境： z/OS、OSIV MSP、VOS3

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿1-5-5 JR恵比寿ビル8F
TEL : 03-5789-2443 FAX : 03-5789-2575
E-mail : ESECinfo@cec-ltd.co.jp

<https://ceccs.site>